



wizpy Style TCA02 登録ツール オペレーション・ガイド

ターボリナックス株式会社

Version 1.0.0

Copyrights/Trademarks

© 2010 Turbolinux, Inc. All rights reserved.

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的のために複製、配布することはできません。

Turbolinux、ターボリナックスの名称およびロゴはターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。Linux は Linus Torvalds 氏の米国および他の国における商標です。Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。Turbolinux、ターボリナックスの名称およびロゴはターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。Linux は Linus Torvalds 氏の米国および他の国における商標です。UNIX は The Open Group の米国および他の国における登録商標です。Red Hat、および RPM は Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。X Window System は X Consortium, Inc. の商標です。Windows® の正式名称は Microsoft® Windows® Operating System です。Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows® XP、Windows® 98 は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。本書で「Windows」や「Windows XP」のように省略して記載している場合があります。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。本ガイドでは、©、®、TM の表示を省略しています。ご了承ください。

2010年5月27日

変更履歴

変更日	バージョン	変更内容
2010年5月27日	1.0	初版

目次

第1章 はじめに.....	1
1.1 登録ツールの動作環境.....	1
第2章 登録ツールの起動と終了とTCA02の初期化.....	2
2.1 登録ツールの起動.....	2
2.2 登録ツールの終了.....	3
2.3 TCA02の初期化.....	3
第3章 登録ツールの使用.....	5
3.1 登録ツールの画面構成.....	5
3.2 パスワード設定.....	5
3.3 ネットワーク設定.....	7
3.3.1 [ネットワーク]タブ.....	8
3.3.2 [Hosts]タブ.....	8
3.3.3 [L2Connect]タブ.....	9
3.4 シンクライアント設定.....	11
3.4.1 [リモートデスクトップ]タブ.....	12
3.4.2 [Citrixクライアント]タブ.....	13
3.5 管理.....	14

第1章 はじめに

wizpy Style TCA02 は、PIN コード認証機能を搭載した USB 型シンククライアントです。wizpy Style TCA02 には、シンククライアントに最適化された Turbolinux Client 2008 が搭載されており、wizpy Style TCA02 を PC に接続して搭載されたシンククライアント OS（以降 TCA02 OS）を起動することで、既存 PC をシンククライアント端末として利用することが可能です。

このガイドでは、wizpy Style TCA02（以降 TCA02）の PIN コードやネットワーク等の設定、搭載する TCA02 OS の更新を行う登録ツール（PDManage.exe）の操作方法について解説しています。



登録ツール（PDManage.exe）は、PIN コード認証機能搭載 USB 型デバイスの製造元である、株式会社プロリンクが開発したソフトウェアです。



本ガイドで挿入されている画像が実際の製品と異なる場合があります。また、登録ツール自体のアップデートによって、ユーザーインターフェイスの一部が変更されたり、一部の機能が追加/削除される可能性があります。そのため、本ガイドの記述と異なる場合もありますが、あらかじめご了承ください。

1.1 登録ツールの動作環境

登録ツールを動作させるために下記 OS が稼働する PC を準備してください。

- ・ 対応 OS : Windows XP SP2 以降 (32ビット)
Windows Vista (32ビット)
Windows 7 (32ビット)



Windows 環境で TCA02 の使用中に PC から TCA02 を抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し (S)」を行ったあとに PC 本体から取り外してください。データの損失、または TCA02 が壊れる原因となります。

第2章 登録ツールの起動と終了と TCA02 の初期化

本章では、登録ツールの起動から終了方法と TCA02 の初期化方法について記載しています。

2.1 登録ツールの起動

設定する TCA02 を PC へ接続して、エクスプローラ等から登録ツールをダブルクリックして起動します。



図 2-1:登録ツールアイコン



登録ツールを利用される場合、他のアプリケーションを動作させたり登録ツール以外の操作を行わないでください。TCA02 と登録ツールとの間で情報交換を行うため、誤動作の原因となります。

登録ツールが TCA02 を認識した場合に、PIN コード（パスワード）の入力を要求します。接続している TCA02 に設定された PIN コードを入力して [OK] ボタンをクリックしてください。

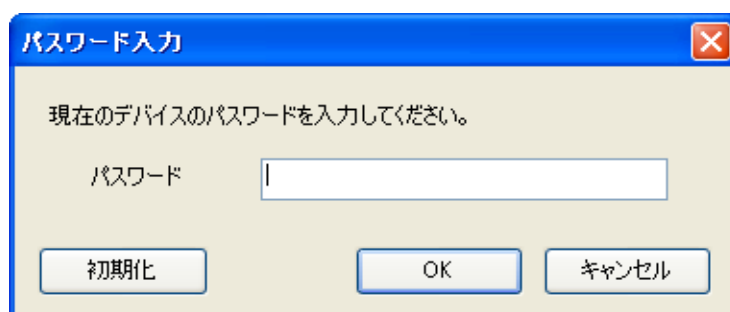


図 2-2:PIN コード入力画面



TCA02 に一度も PIN コードを設定していない場合（工場出荷時）は、「00000000」（ゼロが 8 個）を入力してください。

TCA02 に設定された正しい PIN コードが入力された場合、登録ツールのメイン画面が表示されます。

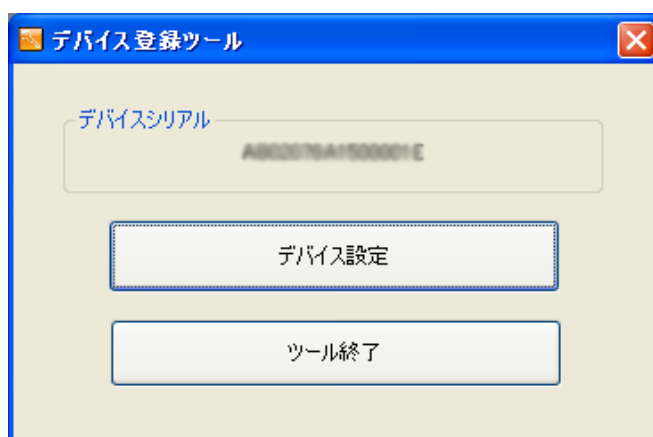


図 2-3:登録ツール メイン画面

[デバイスシリアル] に表示されている英数字が、TCA02 のシリアル番号です。

2.2 登録ツールの終了

登録ツールを終了するには、メイン画面の [ツール終了] ボタンをクリックしてください。また、TCA02 を PC から取り外す場合は、Windows のタスクトレイから「ハードウェアの安全な取り外し (S)」を実行してください。

2.3 TCA02 の初期化

TCA02 に設定された PIN コードを忘れてしまった場合や、登録ツールを使用して設定した値を初期化する場合、登録ツールを使用して TCA02 を初期化することが可能です。

TCA02 を初期化するには登録ツールを起動して PIN コード入力画面で [初期化] ボタンをクリックします。

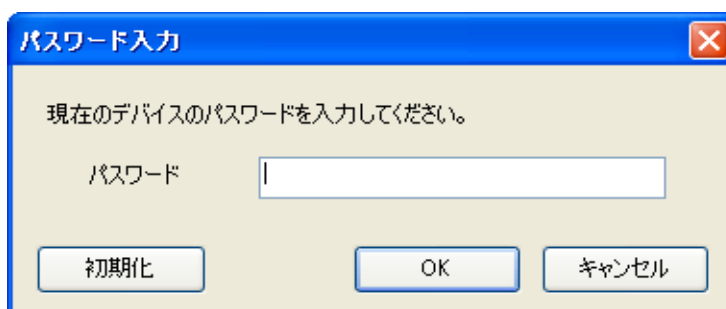


図 2-4:PIN コード入力画面

[デバイスの完全初期化] 画面で [デバイスを初期化する] ボタンをクリックします。

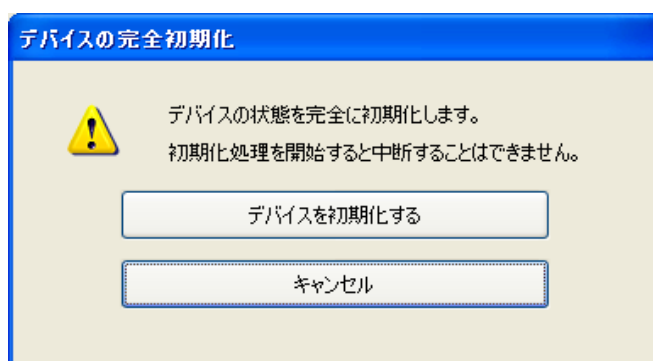


図 2-5:デバイスの完全初期化

確認画面で [はい (Y)] ボタンをクリックすることで、TCA02 の初期化が実行されます。

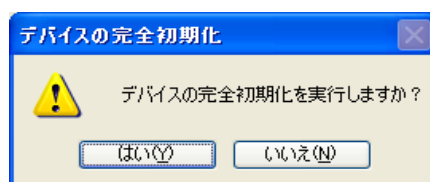


図 2-6:確認画面

[デバイスの完全初期化] 画面で [OK] ボタンをクリックすることで登録ツールが終了します。

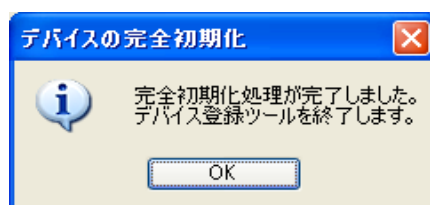


図 2-7:初期化完了画面

第3章 登録ツールの使用

登録ツールを使用することで以下の設定が可能です。

- ・ PIN コードの設定（変更）
- ・ TCA02 OS のネットワーク設定
- ・ TCA02 OS に搭載されているシンクライアント・アプリケーションの設定
- ・ TCA02 OS のアップデート

本章では、登録ツールの使用方法について記載しています。

3.1 登録ツールの画面構成

登録ツールを起動して PIN コード（パスワード）認証後に、登録ツールを使用して TCA02 の設定を行うことが可能です。登録ツールの画面構成を図 3-1にまとめています。

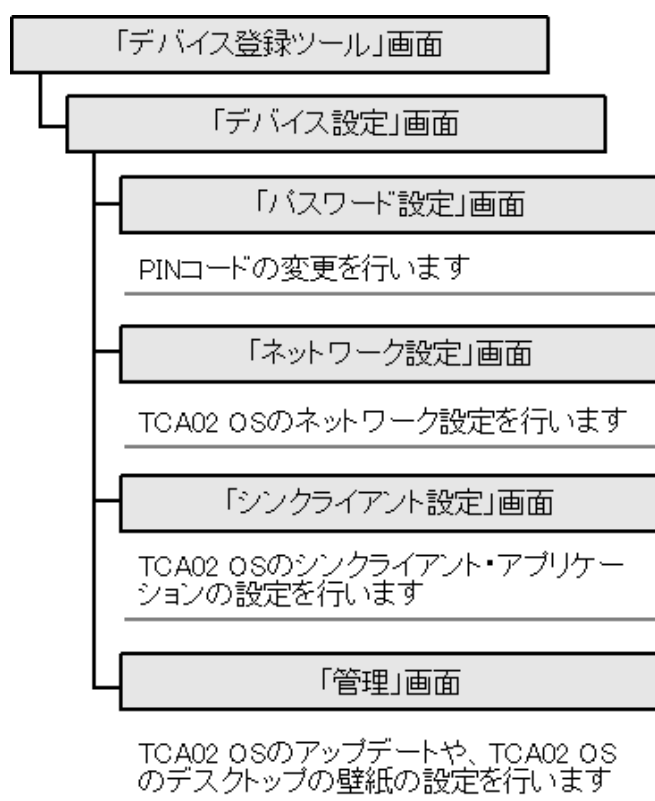


図 3-1:登録ツールの画面構成

3.2 パスワード設定

PIN コード（パスワード）を変更するには、[デバイス登録ツール] 画面（図 2-3：登録ツール メイン画面 / 3ページを参照）で [デバイス設定] ボタンをクリックして [デ

デバイス設定] 画面を表示します。

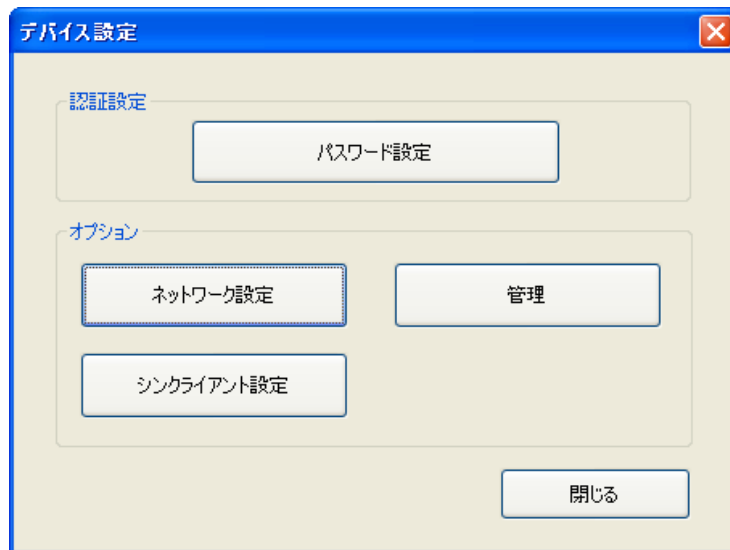


図 3-2:デバイス設定画面

[パスワード設定] ボタンをクリックします。

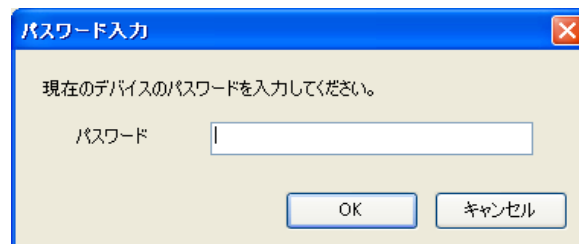


図 3-3:設定された PIN コード入力画面

[パスワード] に変更前の PIN コードを入力して [OK] ボタンをクリックします。

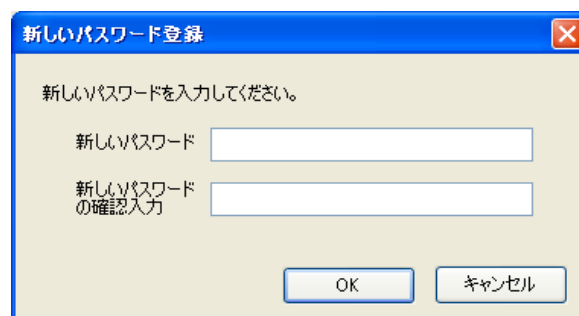


図 3-4:新しいパスワード登録画面

[新しいパスワード] と「新しいパスワードの確認入力」に新しく登録する PIN コードを入力します。

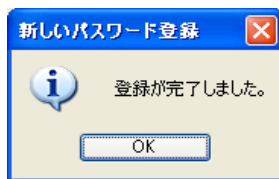


図 3-5:登録完了画面

[OK] ボタンをクリックして PIN コード設定を終了します。

3.3 ネットワーク設定

TCA02 OS を起動した際のネットワークを設定するには、[デバイス登録ツール] 画面 (図 2-3 : 登録ツール メイン画面 / 3ページを参照) で [デバイス設定] ボタンをクリックして [デバイス設定] 画面 (図 3-2 : デバイス設定画面 / 6ページ) を表示し、[ネットワーク設定] ボタンをクリックします。

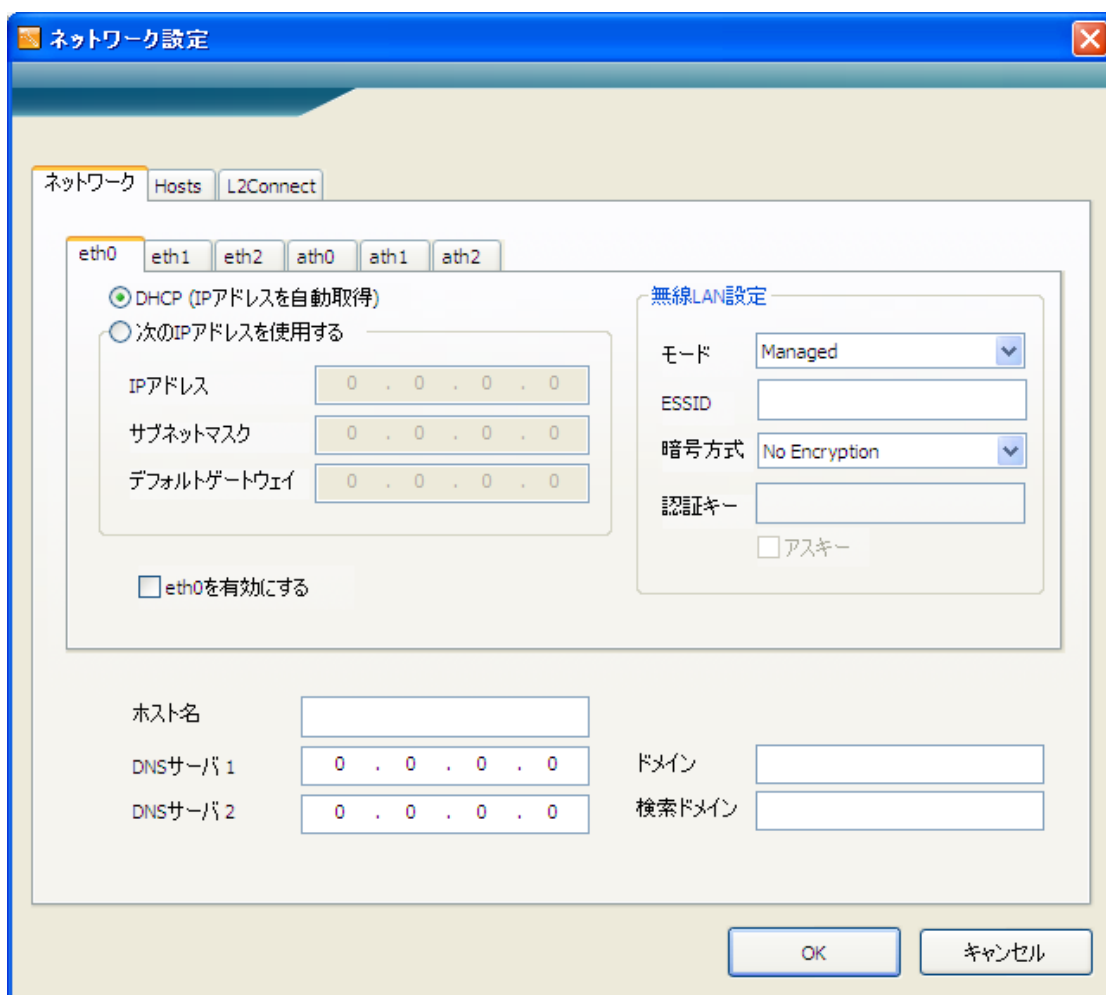


図 3-6:ネットワーク設定画面

ネットワーク設定画面には、[ネットワーク] , [Hosts] , [L2Connect] タブがあります。

3.3.1 [ネットワーク]タブ

[ネットワーク] タブでは、TCA02 OS 起動後の IP アドレスの設定や DNS 設定を行います。使用するネットワークインターフェースを [eth0] [eth1] [eth2] [ath0] [ath1] [ath2] タブから選択して各項目を設定します。



設定しない場合は、TCA02 OS は有線 LAN ネットワークインターフェース (eth0) を DHCP で接続を試みます。また、TCA02 OS 起動後に設定を変更することが可能です。

表 3-1: ネットワーク設定/ネットワークタブの設定項目

項目	説明
[DHCP(IPアドレス自動取得)]	DHCPが有効なネットワークで、IPアドレスを自動取得する場合に選択します。
[次のIPアドレスを使用する]	静的なIPアドレスを設定する場合に選択します。設定する[IPアドレス][サブネットマスク][デフォルトゲートウェイ]を入力します。
(無線LANの場合) [無線LAN設定]:[モード]	「Managed」または「Ad-Hoc」を選択します。 *.Ad-Hocを選択した場合は、ESSIDの設定のみ有効になります。
(無線LANの場合) [無線LAN設定]:[ESSID]	接続する無線LANアクセスポイントのESSIDを入力します。
(無線LANの場合) [無線LAN設定]:[暗号方式]	暗号化方式を設定します。(以下の暗号化方式に対応) ・No Encryption (※暗号化しない) ・WEP ・WPA-PSK-CCMP ・WPA-PSK-TKIP ・WPA2-PSK-CCMP ・WPA2-PSK-TKIP
(無線LANの場合) [無線LAN設定]:[認証キー]	認証キーを入力します。
(無線LANの場合) [無線LAN設定]:[アスキー]	認証キーをアスキー文字で入力する場合は、チェックします。 *. [暗号方式]で「WEP」を選択した場合だけチェック可能です。
[<ネットワークインターフェース> を有効にする]	設定したネットワークインターフェースをTCA02 OS 起動後に有効にする場合にチェックします。
[ホスト名]	ホスト名を入力します。
[DNSサーバ1]	参照するプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
[DNSサーバ2]	参照するセカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
[ドメイン]	設定するドメイン名を入力します。
[検索ドメイン]	検索する場合のドメイン名を入力します。

3.3.2 [Hosts]タブ

[Hosts] タブでは、ホスト名および FQDN と IP アドレスを変換 (名前解決) するための設定を行います。



DNSサーバが利用でき、追加でホスト名およびFQDNとIPアドレスを変換(名前解決)を行う必要がない場合は、設定する必要はありません。

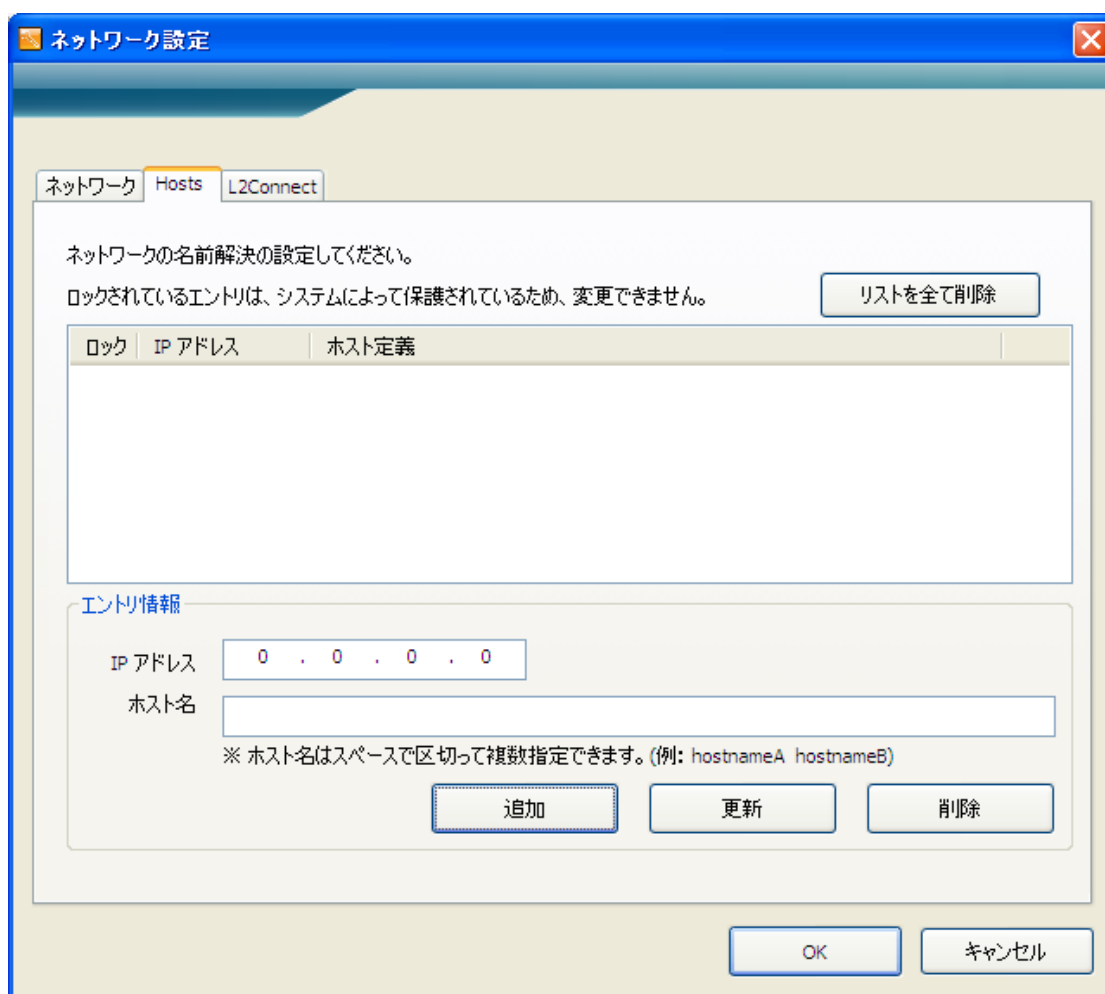


図 3-7:ネットワーク設定 [Hosts] タブ画面

名前解決を新たに登録する場合は、[IP アドレス] と [ホスト名] に入力し [追加] ボタンをクリックしてリストに追加します。変更する場合は、リストに表示される項目を選択して、[IP アドレス] と [ホスト名] を修正し [更新] ボタンをクリックします。削除する場合は、リストに表示される項目を選択して [削除] ボタンをクリックします。

3.3.3 [L2Connect] タブ

[L2Connect] タブでは、SSL-VPN である L2Connect Remote Access for Linux の設定を行います。



L2Connect Remote Access を利用しない場合は、設定する必要はありません。

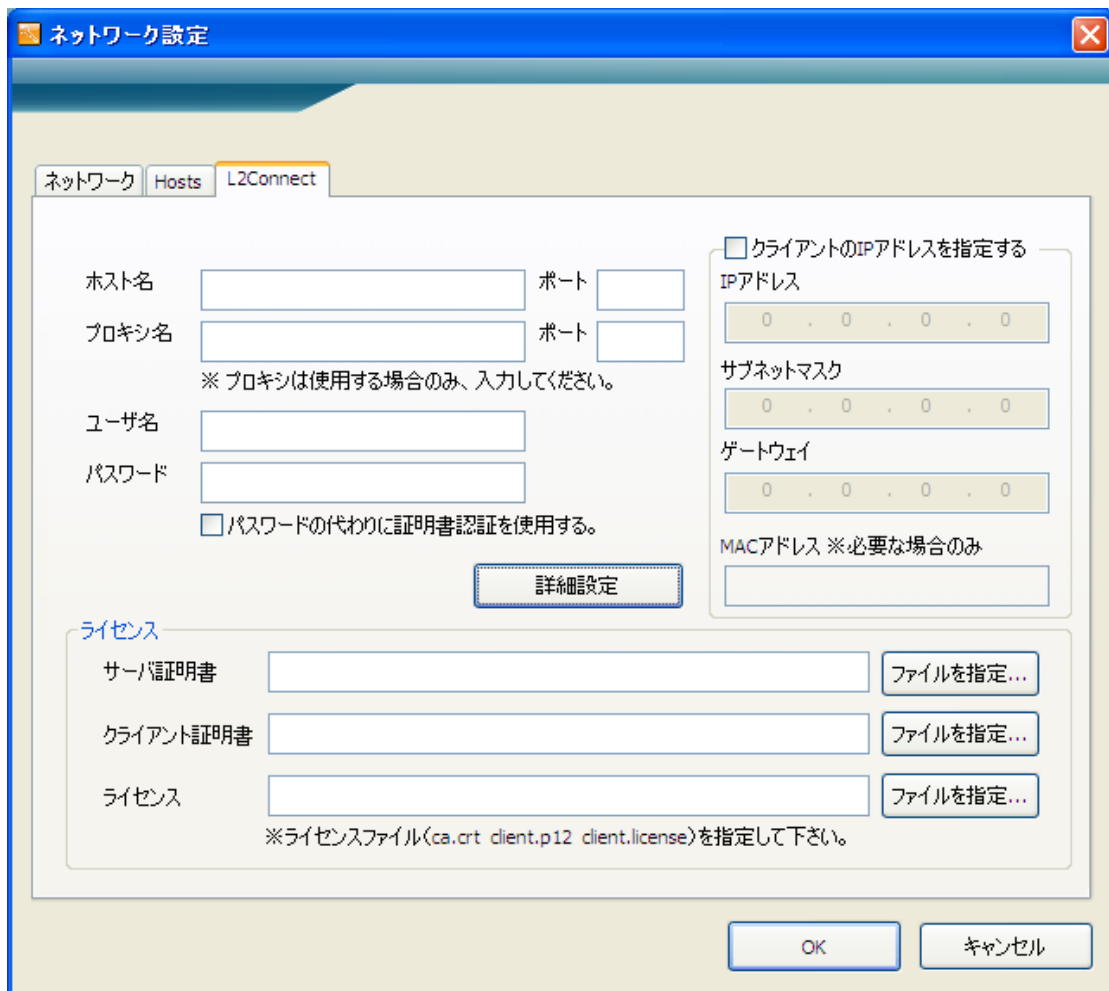


図 3-8:ネットワーク設定 [L2Connect] タブ画面

表 3-2:ネットワーク設定/L2Connect タブの設定項目

項目	説明
[ホスト名]と[ポート]	L2Connect サーバのホスト名とポート番号を入力します。
[プロキシ名]と[ポート]	プロキシ環境を利用される場合、プロキシサーバのホスト名とポート番号を入力します。
[ユーザ名]	ユーザ名を入力します。
[パスワード]	パスワードを入力します。
[クライアントの IP アドレスを指定する]	L2Connect が使用するネットワークインターフェースの IP アドレスを指定する場合にチェックし、設定する [IP アドレス] [サブネットマスク] [ゲートウェイ] を、必要であれば [MAC アドレス] を入力します。
[サーバ証明書]	サーバ証明書ファイルの場所 (登録ツールを動作させている PC に保存されているサーバ証明書ファイルの絶対パス) を入力するか、[ファイルを指定...] ボタンをクリックしてサーバ証明書ファイルを選択します。

項目	説明
[クライアント証明書]	クライアント証明書ファイルの場所(登録ツールを動作させているPCに保存されているクライアント証明書ファイルの絶対パス)を入力するか、[ファイルを指定...]ボタンをクリックしてクライアント証明書ファイルを選択します。
[ライセンス]	L2Connect ライセンスファイルの場所(登録ツールを動作させているPCに保存されているライセンスファイルの絶対パス)を入力するか、[ファイルを指定...]ボタンをクリックしてライセンスファイルを選択します。

ネットワーク設定後に [OK] ボタンをクリックし、ネットワーク設定確認画面で [はい (Y)] をクリックすることで完了します。

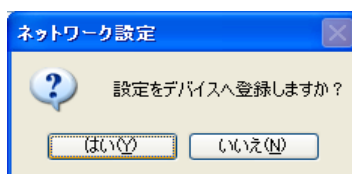


図 3-9:確認画面

3.4 シンクライアント設定

TCA02 OS を起動した際のシンクライアントアプリケーションを設定するには、[デバイス登録ツール] 画面 (図 2-3 : 登録ツール メイン画面 / 3 ページを参照) で [デバイス設定] ボタンをクリックして [デバイス設定] 画面 (図 3-2 : デバイス設定画面 / 6 ページ) を表示し、[シンクライアント設定] ボタンをクリックします。

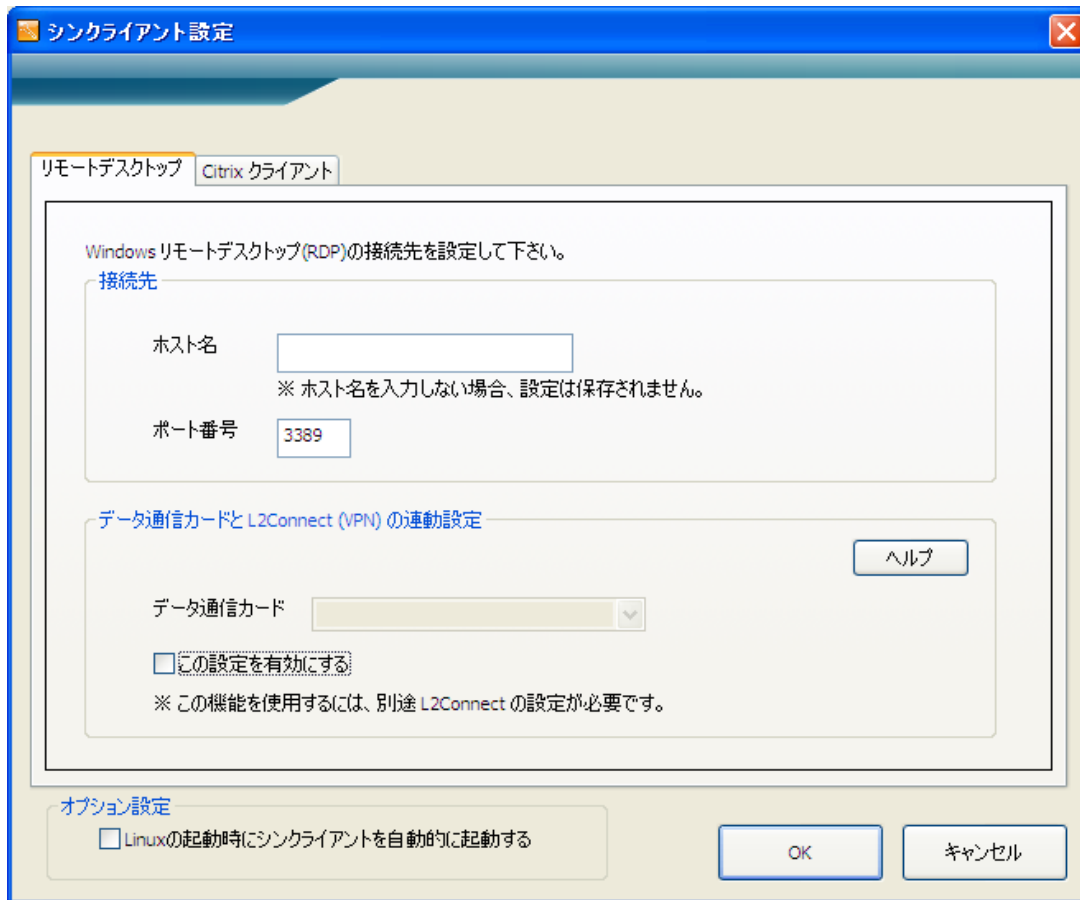


図 3-10:シンククライアント設定画面

3.4.1 [リモートデスクトップ]タブ

[リモートデスクトップ] タブでは、RDP 接続する Windows を設定します。



リモートデスクトップ (RDP 接続) を利用しない場合は、設定する必要はありません。また、TCA02 OS 起動後に設定することが可能です。

表 3-3:シンククライアント設定/リモートデスクトップタブの設定項目

項目	説明
[接続先]:[ホスト名]	RDP 接続である Windows のホスト名もしくは IP アドレスを入力します。
[接続先]:[ポート番号]	RDP 接続である Windows のポート番号(標準ポート番号は 3389)を入力します。
[データ通信カードと L2Connect(VPN)の連動設定]	(追加機能のため省略)
[Linux の起動時にシンククライアントを自動的に起動する]	TCA02 OS 起動後に RDP 接続を自動的に行う場合、チェックします。

3.4.2 [Citrix クライアント]タブ

[Citrix クライアント] タブでは、Citrix Receiver for Linux の設定を行います。

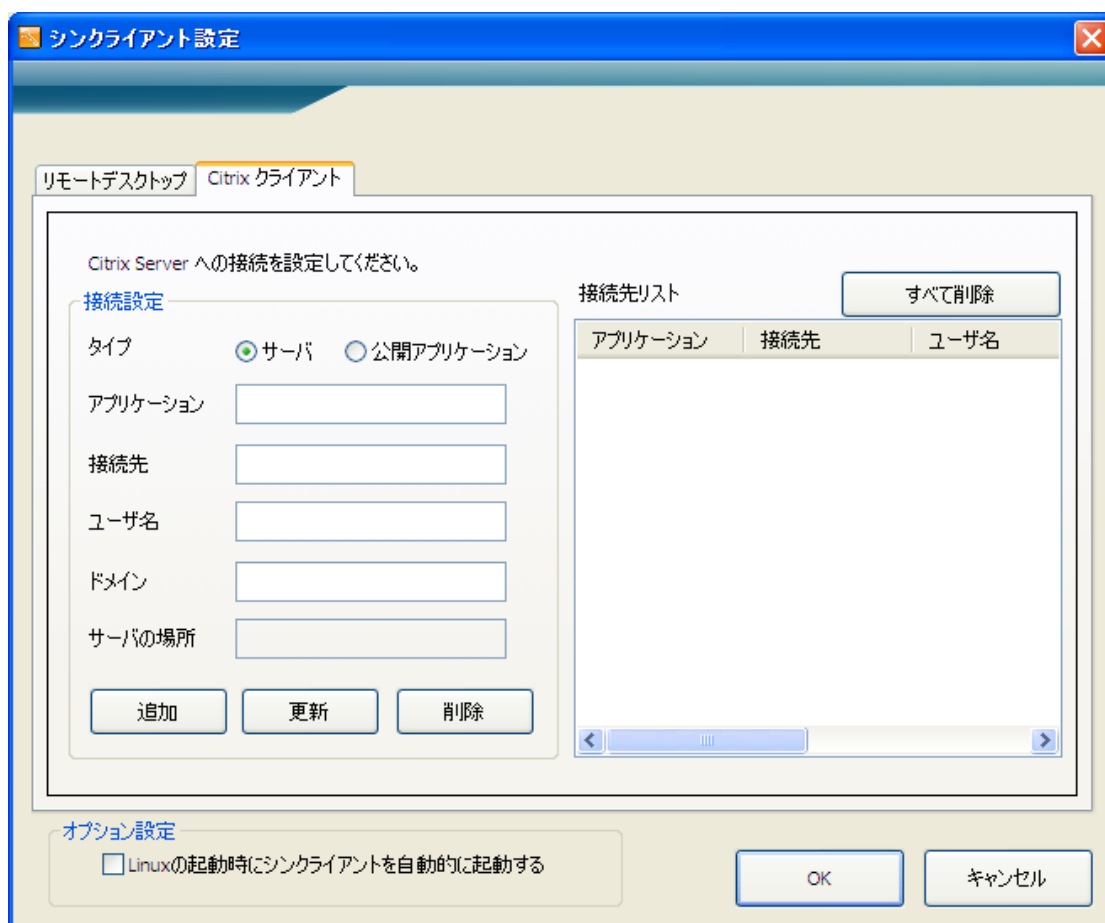


図 3-11:シンククライアント設定 [Citrix クライアント]タブ画面

接続設定を追加する場合は、[タイプ]を選択し [アプリケーション] や [接続先] 等必要な情報を入力して [追加] ボタンをクリックします。更新や削除は、[接続先リスト] から対象アプリケーションを選択して [更新] (設定修正後) もしくは [削除] ボタンをクリックします。

シンククライアント設定後に [OK] ボタンをクリックし、シンククライアント設定確認画面で [はい (Y)] をクリックすることで完了します。

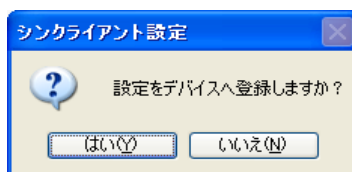


図 3-12:確認画面

3.5 管理

TCA02 に搭載する TCA02 OS をアップデートするには、[デバイス登録ツール] 画面（図 2-3：登録ツール メイン画面 / 3 ページを参照）で [デバイス設定] ボタンをクリックして [デバイス設定] 画面（図 3-2：デバイス設定画面 / 6 ページ）を表示し、[管理] ボタンをクリックします。

次に [OS アップデート] タブをクリックします。

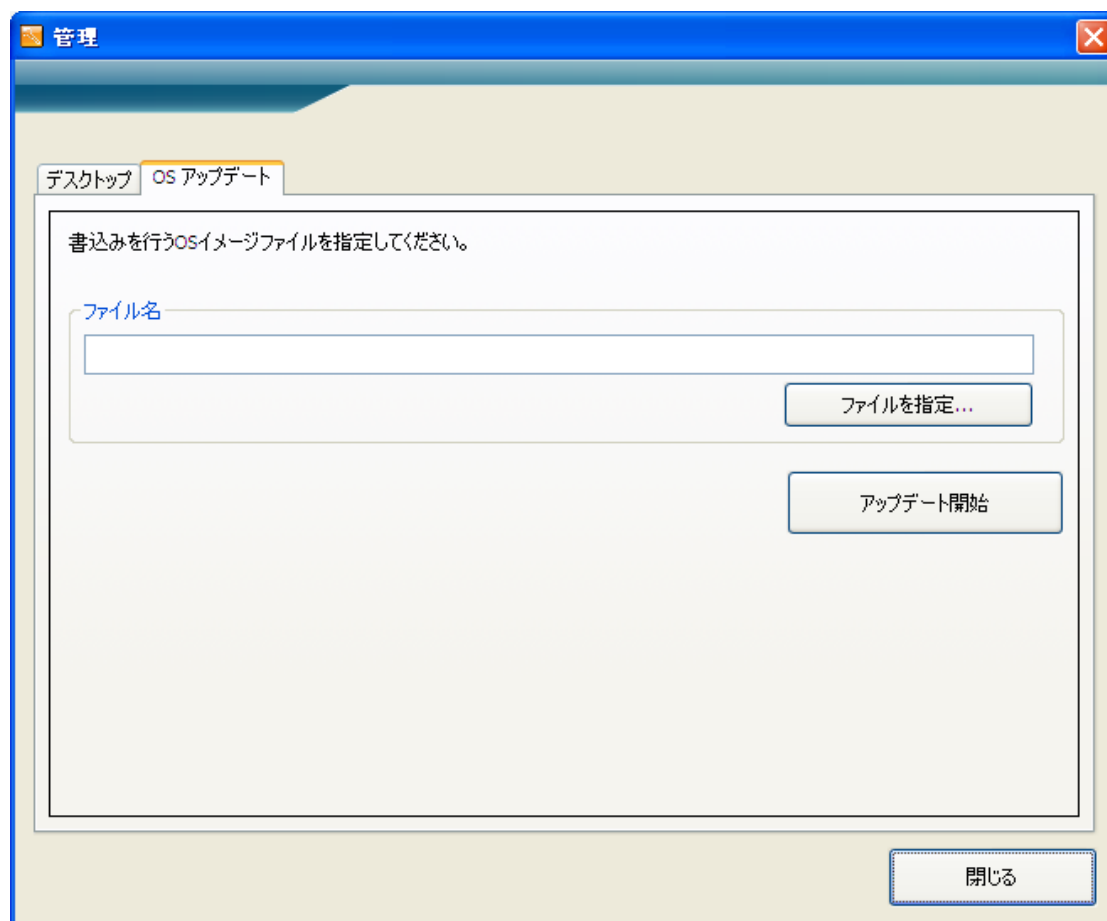


図 3-13:管理[OS アップデート]タブ画面

[ファイル名] に TCA02 OS イメージファイルの場所（登録ツールを動作させている PC に保存されている TCA02 OS イメージファイルの絶対パス）を入力するか、[ファイルを指定...] ボタンをクリックして TCA02 OS イメージファイルを選択します。

TCA02 OS イメージファイルの場所を指定後に、[アップデート開始] ボタンをクリックして TCA02 に搭載する TCA02 OS をアップデートします。

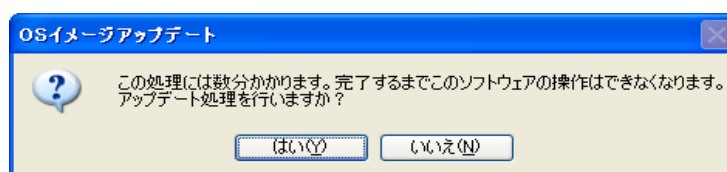


図 3-14:OS イメージアップデート確認画面

確認画面で [はい (Y)] をクリックすることでアップデートが開始されます。

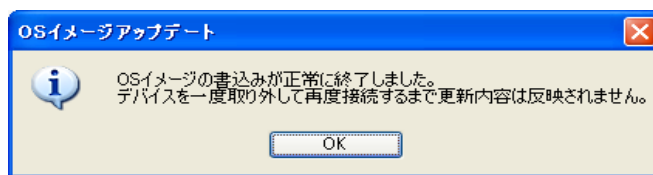


図 3-15:OS イメージアップデート完了画面

完了後に、 [OK] ボタンをクリックして登録ツールを終了してください。



OSのアップデート時間は、登録ツールが動作するPCのスペックにより変わりますが、目安として5分程度で完了します。

wizpy Style TCA02 登録ツール オペレーション・ガイド
Version 1.0.0

ターボリナックス株式会社